2022年度　城崎こども園　保育教育の全体的な計画

保育教育理念	明るく・正しく・仲良く	目指すこども像	いつも生き生きと幸せに満ち、一人でも、仲間ともよく遊び、正しく見、聞き、考え、創るこども

保育教育目標

明るく	正しく	仲良く
○くつろいだ雰囲気の中で情緒が安定し、意欲的に遊ぶ力を育む。 ○歩く、走る、跳ぶなど戸外での活動を充分に楽しむ。 ○自然の世界に多く触れ、豊かな体験を通して自分なりに知を見たり、感じたりり考えたりして、豊かな感性と創造性の芽生えを培う。	○運動や休息、栄養をとり、規則正しい生活を送り、自ら安全を守るような生活習慣及び態度を身につける。 ○食事、排泄、睡眠、着脱衣、清潔など正しい習慣をくり返し自立の芽生えを養う。 ○生活の中で言葉への興味や関心を育て、豊かな情操、思考力、表現力の基礎を培う。 ○自分の気持ちを充分に表現するとともに、他人の話もしっかり聞くことができる子どもを育てる。 ○正しく、きれいな言葉遣いができる子どもを育てる。	○積極的に遊びや生活ができるようにし、自主協調といった社会生活の基礎となるような態度を養う。 ○相手の人権を尊重し、思いやりのある心を育てる。

重点的に取り組む保育教育の柱

健康で安全な保育教育	主体的で協同的な遊びを中心とした保育教育	命を大切にする保育教育	食育を推進する保育教育	異年齢とのかかわりを大切にする保育教育	保護者と共有する保育教育	地域とのかかわりを大切にする保育教育	小学校への円滑な接続に向けた保育教育
・自己を十分に発揮して伸び伸びと行動する機会を大切にし、充実感や満足感を得られるように努める。 ・自分の体を大切にし健康な生活に必要な習慣や態度を育てる。	・子どもが自ら選んで遊び込める環境設定を行い、直接的、具体的体験を重ねて、非認知能力の獲得を支援する。　・友だちと一緒に考え、思いを共有したり、意見を出し合い協力しながら進める遊びを通して総合的な学びの基礎を養う。	・自他の違いに気付き、互いに認め合い、一人一人が大切な存在だと感じる心を育てる。　・仏、小教主をもとに平和や命の大切さについて知ることのできる保育を展開する。	・米作り、味噌造りなどを通して食と命のかかわりなどを実感し、食に対する感謝の気持ちを育てる。　・食べることの楽しさを実感するなど、豊かな食の体験を積み重ね、食を営む力の基礎を育む。	・互いに親しみを持つとともに、慕れや思いやりの気持ちを持ち、育ち合えるような保育を工夫する。	・園での活動内容や子どもの様子を様々な方法で日々伝えていくことで、子ども理解につなげ、子どもと保護者の育ちを支援する。	・夏祭りやだんじり祭りなど文化や伝統などに触れて自分たちの住む地域に一層親しみを感じ、豊かな生活体験を得られるような かかわりを大切にする。　・地域とともに子育てに取り組む態勢の確立に努める。	・園児と児童の交流を通じて、小学校生活に安心感と期待感が感じられるよう学びの接続を図る。
生活習慣 着替え、手洗い、うがい、歯磨き、午睡、運動会、発表会、リトミック、運動遊び、プール	コーナー遊び、ごっこ遊び、一日の振り返り、サークルタイム、共同制作、お店屋さんごっこ、運動会、発表会	座禅、生き物の飼育、花まつり、クリスマス会、誕生会、幼年消防活動、避難訓練、交通訓練	田植え、稲刈り、精米体験、野菜の栽培、味噌造り、親子クッキング、おやつクッキング、餅つき、芋掘り、やきいも	他クラスとの交流、合同保育(夏期、土曜日など)、お店屋さんごっこ、夕涼み会	今日の様子の掲示、キッズリー、運動会、発表会、親子クッキング、保育参観、親子遠足、もちつき、夕涼み会	だんじり運行、老人交流会、楽々むら交流会、トライやるウィーク受入、中学生との交流会、散歩、オープンスクール、挨拶回り、幼年消防活動、園だより	5－5交流会、放課後児童クラブとの関わり、担当者会議

養護

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	保育所保育指針で定めるねらい
生命の保持 情緒の安定	・健康や安全に配慮し、一人一人の生活リズムを大切にしつつ、生理的欲求を充分に満たす。 ・保育者との応答的なふれあいや関わりの中で、安心して過ごせるように愛着関係を育んでいく。	・生理的欲求を満たし、生活リズムが形成されるように援助する。 ・子どもの思いに共感し、触れあい、語りかけることにより安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。	・安全で快適な生活環境の中で、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育てる。 ・様々な自己主張を受け止め、一人一人の気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。	・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付けられるよう、自らできることを支援する。 ・子どもの気持ちや考えを受け止め、自我の形成とともに主体的な行動や探索意欲が高められるようにする。	・健康で安全な生活に必要な習慣に関心を持ち、自らできることの喜びを感じられるよう支援する。 ・自己肯定感を育み他者を受容する気持ちを育てる。	・健康で安全な生活に必要な習慣を身に付け、自ら進んで行動できるようにする。 ・心身の調和と安定により、自信を持って行動できるようにする。	①一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。　②一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。　③一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。　④園環境遊び、植物的に図られるようにする。 ①一人一人の子どもが、安心感を持って過ごせるように する。　②一人一人の子どもが、自分自身も安心して表すことができるようにする。　③一人一人の子どもが、周囲から全面的に受け止められ肯定感として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。　④一人一人の子どもの心身の疲れが癒されるようにする。

教育

主として非認知能力の獲得　→→→→→

年齢	0歳児		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	育って欲しい姿の評価の観点	主として認知能力の獲得 小学校以上で身につけるべき資質・能力
健やかにのびのび育つ	・人や物に興味を示し、探索活動が活発になる。 ・保育者に身の回りを清潔にしてもらうことを心地よいと感じる。	午前	・歩行が完成し、体を動かすことが楽しいと感じる。 ・身の回りのことを保育者と一緒にしようとする気持ちが芽生える。	・基本的な動作ができるようになり、全身を使って遊ぶことを楽しむ。　・保育者の見守りの中、身の回りのことを自分からしようとする。	・十分に体を動かしたいろいろな遊具や用具を使った遊びを楽しむ。　・生活の流れが分かり、自分でできることは自分でしようとする。	・全身を使いながら、様々な遊具や活動などに挑戦して遊ぶ。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度に関心を持ち、身に付けようとする。	・運動に意欲を持ち、目標をもって取り組む。 ・自分の体に関心を持ち、健康、安全な、生活に必要な習慣や態度を身に付け、自ら進んで行動する。	健康な心と身体	自ら判断して、自分の健康や運動について、何をしようか、どう進めようかと考え、実際に取り組む中で充実感を感じているか。	
			主な活動	主な活動	主な活動	主な活動	主な活動			
		午後	かけっこ、リズム体操、押す、引く、着替え	動物歩き、バジャマの着替え、靴の着脱、階段の昇降、プール遊び	制服体操服の着替え、歯磨き、運動遊び、プール遊び	大型遊具、ブランコ、大縄跳び、座禅、プール、自分で着替える	縄跳び、竹馬、山登り、リレー、転がしドッチ、プール	自立心	自分でやりたいことを決め、同時に園のルールとの折り合いを付けながら、工夫してやり遂げ、自信と満足感を得ているか。	
			・自分がしたいことやしてほしいことを伝える。　・保育者や友だちの行動に興味を示し、自分もしようとする。	・生活や遊びの中で順番・交代などがあることを知る。　・保育者や友だちとかかわって遊ぶ楽しさを感じる。	・保育者の仲立ちのもと、友だちに思いを伝え合って遊ぼうとする。　・友だちとのかかわりを徐々に深めながら、簡単なルールを守って、遊ぼうとする。	・友達とイメージや目的を共有し、工夫したり、協力したりしながら遊ぶ。 ・思い通りにいかない不安や葛藤を経験する中で、自分の思いを伝えようとし、相手の思いに気づく。	・自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりしながら、協力して物事をやり遂げる大切さや充実感を味わう。 ・地域の人や近隣の友達など自分の生活に関係の深い人たちに親しみを持つ。	協同性	友達と一緒にやりたいことが生まれ、それを具体化する中で、少しずつ互いに協力して、そこに向けて力を出し合って進めているか。	
	主な活動		主な活動	主な活動	主な活動	主な活動	主な活動			
	ハイハイ、まねっこ、散歩、着替え、食事、水遊び(沐浴)	夕方	一人ままごと、まねっこ遊び	三輪車、友だちや保育者とのままごと	おもちゃの貸し借り、フルーツバスケット、鬼ごっこ、イス取りゲーム	ごっこ遊び、ルールのある遊び（鬼ごっこ、ハンカチ落としなど）	お店屋さんごっこ、異年齢交流、老人交流会、だんじり運行	道徳性・規範意識の芽生え	相手に思いやりを抱き、その子どものために行動し、更にみんなの守るルールを思い出し、自分と相手の折り合いを付けているか。	
身近な人と気持ちが通じ合う	・保育者との応答的なかかわりのもと、愛着関係が芽生え、要求する。 ・周囲の人に興味や関心を示し、かかわろうとする。 ・身近なものに興味や関心を示し、見たり触れたりする。	午前	・身近な自然や事象に興味や関心を広げ、探索、模倣して遊ぶ。　・形や特性（水・砂・泥など）に興味を示し、触れたり遊んだり作ったりすることを楽しむ。	・生活の中で様々な自然や事象に触れ、興味や関心を持ち、親しみを持って自分からかかわろうとする。　・身の回りの物の色、量、形などに関心をもち、分けたり、集めたりする。	・様々な物事や自然に触れ、積極的にかかわる中で生活や遊びに取り入れようとする。 ・体験を通して身の回りの物の色、数、量、形などに興味や関心を持ち、数えたり、比べたりする。	・様々な物事や自然に主体的にかかわり、試したり、発見したりしながら工夫して遊ぶ。 ・生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心を持ってかかわる。	社会生活とのかかわり	園の外に暮らす家族や地域の様々な人たちと触れあい、親しみを感じているか。それを情報として役立て、地域の生活を理解しているか。	1「生きて働く知識・技能 の習得」 2「未知の状況にも対応できる思考力、 判断力、 表現力の育成」 3「学びを人生や社会に 生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養」
			主な活動	主な活動	主な活動	主な活動	主な活動			
	散歩(保育者と手をつないで)、水遊び、ブロック遊び（つなげる、積む、崩す）	夕方	友だちと手をつないで歩く、水遊び、砂遊び、粘土遊び	園外保育（虫探し、自然物探し）、色水遊び、グループ分け	朝顔の栽培、お店屋さんごっこ、カルタ	ザリガニつり、時計作り、編み物、裁縫、野菜・ミニトマトの栽培、米作り、こま回し	思考力の芽生え			
	・保育者との応答による心地よさや嬉しさを感じ、自分の思いを身振りや言葉で伝えようとする。　・絵本や歌遊びを楽しみながらいろいろな言葉に触れる。		・自分の思いや経験を話そうとしたり、遊びの中で関連な言葉でのやり取りをしたりする。　・絵本や言葉遊びを通して、繰り返しのある言葉や模倣を楽しむ。	・経験したことや感じたことを自分なりの言葉で保育者や友達に伝えようとする。　・絵本や物語を興味をもって聞く。	・,自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりして会話を楽しむ。 ・絵本や物語などの言葉遊びを楽しみ、イメージを広げる。	・共通の目的に向かって、友達と話し合い、自分の思いを伝えたり、相手の話す言葉を聞こうとしたりする意欲や態度を身に付ける。 ・遊びや生活の中で文字や記号に親しむ。	自然とのかかわり・生命尊重	人の思うようになるのではない自然の独自の特徴に気付き、それに寄り添い、とりわけ命あるものを大事にしようとしているか。	
	主な活動		主な活動	主な活動	主な活動	主な活動	主な活動			
	ふれあい遊び、手遊び、おんぶ、抱っこ、散歩	夕方	手遊び、絵本	人形遊び、オペレッタ、絵本を自分で見る	遊びの中での会話、一日の振り返り、創遊び	一日の振り返り、創遊び、人形劇ごっこ、発表会の司会	お話作り、すごろく、トランプ、カルタ、月刊誌、運動会での役割分担	数量や図形	数量や図形や文字などが環境におかれ、また活動の中で出てくることについて、その働きに関心を持ち、活用しているか。	
豊かな心情と言葉の育ち	・保育者の顔や声に注目声や喃語、片言により声を出して応えようとする。　・泣き顔や怒りを通じなどで、思いを表そうとする。　・友達の様子や出会う様々なものを心で受け止め、感じたことを全身で表す。	午前	・生活の中で様々なものから刺激を受け、心ゆくまでかかわることを楽しむ。　・様々な体験を通じて、感じたことを自分なりに表現しようとする。	・様々な事象や出来事を通してイメージを広げたり、深めたりしながら心の中に蓄える。　・興味があることや経験したことを再現したり、真似たりする楽しさを味わう。	・自分でイメージを広げたり、見立てを楽しんだりして遊ぶ。　・見たり、感じたり、考えたりしたことを身振りや動作で表現する。	・友達と一緒に遊びのイメージを共有しながら、様々な表現を楽しむ。 ・感じたこと、考えたこと、経験したことなどをいろいろな方法で表現する。	・友達と心を通わせ、一緒に表現する過程を楽しむとともに、感動する体験などを通じ、豊かな感性を育み、それらを表現する意欲を高める。 ・いろいろな素材に触れ、感じたこと、考えたことを工夫して表現する楽しさを味わう。	言葉による伝え合い	言葉を使った文化財や活動を楽しみ、言葉で表現することに関心を持ち、また他の子ども・大人と言葉で伝え合い、わかり合おうとしているか。	
	主な活動		主な活動	主な活動	主な活動	主な活動	主な活動			
	返事、見立て、追いかけっこ、音の出るおもちゃ、リズム遊び	夕方	動物のまね、洗濯ばさみ・カラーポリ袋・新聞紙を使った制作や遊び、なぐり描き	リトミック、ごっこ遊び（運動会ごっこ、発表会ごっこ）、丸を描く、はさみを使う	ままごと、ごっこ遊び、リズム遊び(楽器)、粘土遊び、はさみ・のりを使う、顔を描く	制作コーナー、ペープサート作り、衣装作り、楽器遊び(メロディオンなど)、生き物を描く	合奏、歌(伴奏で)、絵画(自分、経験したこと、身近なもの)、創遊び	豊かな感性と表現	身の回りにある様々なものに心を動かされ、それを音や造形や身体などで表し、その表現を味わい、楽しんでいるか。	

食育

ねらい	色々な食材に触れる 食べることを喜ぶ	自分で食べようとする	友だちや保育者と一緒に食べる楽しさを味わう。	食習慣、マナーを知る 食材の色・形・香りなどに興味を持つ	楽しく食事をするマナーを自分で意識しようとする。 食材の旬を知り、命をいただく感謝の心を持つ。	時間内にマナー良く楽しく食べる。 様々な食に関わる体験を通して感謝して食べる。			
主な活動	手づみで食べる、スプーン、フォーク、マグカップを持つ。	スプーン、フォークを使う、コップで飲む	グループで食べる、スプーン・フォークを正しく使う、箸を持つ、食材に触れる。	野菜の栽培、クッキング、箸を正しく持つ、苦手なものを食べようとする。	野菜の栽培、米作り、クッキング、味噌造り、お皿をもってきれいに食べる。	親子クッキング、米作り、野菜の栽培、クッキング、食事の場を自分たちで整える。			